

中学2年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	5単位・(書写1単位)
年間目標	国語力の向上
使用教科書	『新編 新しい国語 2』(東京書籍) 『中学書写』(教育出版)
使用補助教材	『中学必修テキスト 2年』文理 『よくわかる中学国文法』吉野教育図書 『論理エンジン』水王舎 『漢検実力完成ドリル』日本漢字能力検定協会

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	「未来へ」 「メッセージをどう聞かか」 「短歌を楽しむ」 ○文法の学習 ・名詞	・詩の形式や修辞および鑑賞 ・筆者の考えを捉える ・短歌の鑑賞 ・漢字力・語彙力の向上 ○論理エンジン レベル1～3	・詩の形式・修辞を理解し、心情を捉える。 ・中心語に注意し、筆者の主張を捉える。 ・情景や心情に注意し、短歌を鑑賞する。
		書写 行書の学習 漢検対策 「社説」「雲海」	・書く姿勢と用具の使い方 ・点画の連続と省略を理解して書く	・文字を美しく書く姿勢を身につける。 ・伝統文化を大切にすることを養う。
	後 半	「字のない葉書」 「卒業ホームラン」 ○文法の学習 ・連体詞と副詞	・随筆の読解 ・小説の読解 ・漢字力・語彙力の向上 ○文法の学習 ・連体詞と副詞の働きと種類 ○論理エンジン レベル4～6	・中心語に注意し、筆者の主張を捉える。 ・登場人物の言葉や行動がどんな意味を持っているかに注意して、作品を読み味わう。 ・登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。 ・語句の意味を理解し、語彙力を増やす。
		書写 行書の学習 漢検対策 「開花」「豊かな心」	・書く姿勢と用具の使い方 ・点画の連続と省略を理解して書く	・文字を美しく書く姿勢を身につける。 ・伝統文化を大切にすることを養う。
2 学 期	前 半	「鯉節 世界に誇る伝統食」 「枕草子」 「小さな労働者」 ○文法の学習 ・接続詞と感動詞	・評論の読解 ・古典文の読解・鑑賞 ・漢字力・語彙力の向上 ○文法の学習 ・接続詞と感動詞の働きと種類 ○論理エンジン レベル7～9	・文章の展開や主張を捉える。 ・1年次に続き、古典文に親しむ。 ・文章の展開や主張を捉える。 ・語句の意味を理解し、語彙力を増やす。
		書写 行書の学習 漢検対策 「創造」「初志を貫く」	・書く姿勢と用具の使い方 ・点画の連続と省略を理解して書く	・文字を美しく書く姿勢を身につける ・伝統文化を大切にすることを養う
	後 半	「哲学的思考のすすめ」 「徒然草」 「平家物語」 ○文法の学習 ・助動詞①	・評論の読解 ・古典文の読解・鑑賞 ・漢字力・語彙力の向上 ○文法の学習 ・助動詞の基礎学習 ○論理エンジン レベル10～13	・文章の展開や主張を捉える。 ・2学期前半に続き、古典文に親しむ。 ・語句の意味を理解し、語彙力を増やす。
		書写 行書の学習 「約束」「銀河」	・書く姿勢と用具の使い方 ・点画の連続と省略を理解して書く	・文字を美しく書く姿勢を身につける。 ・伝統文化を大切にすることを養う。
3 学 期	学 期	「走れメロス」 「『正しい』言葉は信じられるか」 「漢詩」 ○文法の学習 ・助動詞②	・小説の読解 ・評論の読解 ・漢詩の鑑賞 ○文法の学習 ・助動詞の基礎学習 ○論理エンジン レベル14～16	・人物の気持ちの変化を読み取る。 ・文章の展開や主張を捉える。 ・漢詩の基礎的な知識を学ぶ ・語句の意味を理解し、語彙力を増やす。
		書写 行書の学習 「世界大会」「旅立ちの朝」	書く姿勢と用具の使い方 点画の連続と省略を理解して書く	文字を美しく書く姿勢を身につける 伝統文化を大切にすることを養う

評価方法	1・2学期は、定期試験の「国語」の得点×0.8+書写20点分、 3学期は、定期試験の「国語」の得点×0.9+書写10点分 を基本として、本校評価法に基づいて評価します。
------	--

学習方法	「予習→授業→復習」を徹底しましょう。予習時に本文をよく読み、意味不明語句や難解表現について調べたり、考えたりしたことをノートに書き留めておきましょう。授業時に予習内容の確認をはじめ、先生の話に集中することが大切です。授業時の疑問点は、すぐに解決しましょう。国語力の向上は、こうした積み重ねの上にあります。古文・漢文の学習では反復して定着させます。
------	--

注意事項	予習・復習(家庭学習)の習慣づけと、授業をしっかり受けることが大切です。
------	--------------------------------------

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	『中学必修テキスト 2年』の該当単元
-----------------------	--------------------

中学2年生 歴史 学習指導計画

教科目(単位数)	歴史(2単位)
年間目標	日本の近代・現代の歴史を学ぶ。国際社会と日本という視点を意識させ、高校における世界史・日本史の学習につなげる。
使用教科書	清水書院 『新中学校 歴史 日本の歴史と世界』
使用補助教材	文理『中学 Winspass 社会 歴史』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	第3章 近世の日本と世界 第4節 産業の発達と町人文化 第5節 社会の変動と欧米諸国の接近	諸産業の発達 都市と商業の発達 元禄時代の人びとのくらし 元禄文化と学問の発達 社会の変化と幕府政治の改革 ききん・打ちこわしと幕府政治の立てなおし	・農業生産の向上に伴い、各地で産業が発達し、交通網が整備されたことで全国規模の流通が可能となったことを理解する。・元禄時代は民衆の生活水準の向上を背景に上方中心に商人の文化が開花したことを理解する。・他方、幕府財政が悪化し、最初の幕政改革が行われたことを理解する。
	後 半	第4章 近代の進む世界と日本 第1節 近代社会の成立 第2節 開国と江戸時代の終わり	欧米諸国の接近と対応 新しい学問と思想 江戸後期の文化と民衆のくらし 近代をむかえる東アジア アメリカの独立とフランス革命 産業革命と近代社会の幕開け 欧米諸国の勢力拡大 欧米諸国のアジア進出 開国直前の日本	・幕府の改革が失敗に終わる一方、欧米諸国が、日本に接近してきた事実を、その背景を含めて考察する。・江戸時代中期の東アジア諸地域の動きを欧米諸国の動向とからめ、理解する。・欧米諸国の世界進出の背景にあった市民革命と産業革命を考察する。・欧米諸国のアジア諸国への進出の実態と、幕府政治の衰退を理解する。
2 学 期	前 半	第3節 明治維新と文明開化 第4節 立憲政治のはじまり 第5節 アジアの近代化と日本のうごき	ペリーの来航と開国 尊王攘夷・公武合体と薩長同盟 明治維新 身分制度の廃止と国民の形成 経済制度の改革 文明開化と教育の普及 新しい国際関係 領土の確定と北海道・沖縄 民権議院の主張と士族の反乱 自由民権運動と国会開設の公約 内閣制度と大日本帝国憲法の制定 立憲政治の定着と条約改正	・ペリー来航の意義と幕府の対応を考察する。・開国後の国内政治の推移を理解する。・欧米型の近代国家建設を目標とする明治政府の諸政策を理解する。・国会開設を目指した自由民権運動の流れを追って理解するとともに、政府のとした対応を考察する。・国会開設に向けた国内制度の整備と憲法制定の準備について考察する。・大日本帝国憲法
	後 半	第6節 日本の産業と社会の変化 第5章 二つの世界大戦と日本 第1節 第一次世界大戦と日本	日清戦争 日露戦争 日本の植民地統治 中国の革命と日本 経済の発展とそのひずみ くらしの変化 教育と文化の発展 第一次世界大戦と日本 ロシア革命 大戦後の世界 民族運動の高まり 大正デモクラシーと政党政治の発展 社会主義運動とその取り締まり 植民地の動向と国外の日本人 都市化と文化の大衆化 民主主義と国際協調のゆらぎ 恐慌の影響 と政党政治のゆきづまり 満州事変と軍部の政治介入 日中戦争と戦時体制 第二次世界大戦のはじまり アジア・太平洋地域の戦争 占領地と植民地のうごき 戦時下の民衆生活 第二次世界大戦の終結	の特色を理解する。・条約改正交渉の経過を、国内の動向と国際関係の変化に連関させて理解する。・日清・日露の両戦争から日本の植民地支配までの経緯を理解する。・産業革命の進展による経済の発展、社会問題や環境問題の発生とその対応について考察する。・第一次世界大戦と日本の動きを、日本の参戦を通じて理解する。・第一次世界大戦後の国際社会の動向を、国内状況と関連
3 学 期		第2節 政党政治の発展と大衆文化 第3節 ファンズムの動きと日中戦争 第4節 第二次世界大戦と戦時下の人びと 第6章 現代の日本と世界 第1章 戦後の日本と世界	民主化をめざして 日本国憲法の制定と教育の民主化 冷戦のはじまり 国際社会への復帰 戦後の平和運動	付けながら、考察する。・大正デモクラシーと普通選挙の実現により、国民の政治参加への高まりを理解する。・世界恐慌に対する各国の対応策を考察すると同時に、ドイツを中心とするファンズム国家が台頭する過程を理解する。・世界恐慌後の不況打開を大陸進出に求める動きが、軍部を中心に生まれてくる経緯を理解する。・満州事変と国内での軍人の起こした事件が軍部の政治介入をもたらしたことを理解する。日中戦争から太平洋戦争の開戦までの経緯を、国際社会の動きとからめて考察する。・日本の占領地と植民地の支配の実態を理解する。・戦時下の国民生活に実態を理解する。・戦後の諸政策が、どのように進められたかを考察する。・日本国憲法制定の過程を理解すると同時に、教育の民主化についても理解を深める。・国際連合の成立の一方で、冷戦構造ができあがっていた過程を考察する。・冷戦が日本の占領政策に転換をもたらし、朝鮮戦争がそれを強め、日本と米国との依存関係が深まるなかで、日本の国際社会への復帰が実現したことを理解する。

評価方法	1.定期試験の成績 ※1・2・3の合計で評価	2.提出物(課題・作業シートなど)の提出状況	3.学習態度・発言などの平常点
学習方法	1.教科書をよく読み、授業の予習をする。 2.授業に集中して、ノートをきちんと取る。 3.歴史用語・地名・人物名などは正確に漢字で書くことができるようにノートを取る際や復習の際に間違いのないように注意して書く。 4.副教材『中学 Winspass 社会 歴史』および 課題の問題プリントでしっかり理解できているか確認し、理解があいまいな場合は何度も反復学習をする。		
注意事項	歴史を勉強するにあたりまずは、教科書を熟読しましょう(声を出して読みましょう)。次に補助教材の『資料による 新しい歴史』(出版社: 浜島書店)にでている年表を参考に時代の特色や流れをつかんでください。また、定期試験では、歴史用語や地名・人物名などはすべて漢字で答えることになります。復習や定期試験の勉強にあたって、くり返し漢字で書いて覚えるよう心がけてください。		
インフルエンザ等 臨時休校になった 場合の課題	補助教材『中学 Winspass 社会 歴史』を使って、自宅学習をします。学習する箇所は、そのとき担当者から連絡します。		

中学2年生 地理 年間指導計画表

教科目(単位数)	地理(2単位)
年間目標	世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を取り上げ、我が国の国土の特色を、自然環境、人口、環境、エネルギーと産業、地域間の結びつきの視点から大観させる。また、日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市、村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかを中核とした考察をもとにして地域的特色をとらえさせる。
使用教科書	帝国書院『社会科 中学生の地理 世界のすがたと日本の国土』、『新編中学校社会科地図』
使用補助教材	とうほう『中学白地図 II』、育伸社『iワーク 地理II』(帝国書院版)、『学習の達成 社会(帝)地理 日本』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前 半	2章 世界と比べた日本の地域的特色 1節 自然環境の特色 2節 人口の特色	①世界と比べた日本の山地 ②世界と比べた日本の平野 ③日本の海岸と海流 ④世界の気候の特色 ⑤日本の気候の特色 ⑥日本のさまざまな自然災害と防災	①世界の山脈が連なる造山帯の中に位置し、地震や火山が多い日本の山地の特色を理解する。 ②日本の河川および平野の特色を理解する。 ③日本の主な海岸地形と海流について理解する。 ④雨温図や写真などを活用し、各気候帯を理解する。 ⑤日本の気候の特色と地域の気候の違いについて理解する。 ①世界の人口の増加、増加した地域について理解する。 ②日本の人口について、年齢別構成の特色を知り、生活に及ぼす影響について理解する。
	後 半	2章 世界と比べた日本の地域的特色 3節 資源や産業の特色 4節 地域間の結びつきの特色 3章 日本の諸地域 序説 日本の諸地域を学ぶにあたって 1節 九州地方	①エネルギー・鉱山資源の生産と消費 ②世界の中の日本の産業 ③日本の農業とその変化 ④日本の林業・漁業 ⑤日本の工業とその変化 ⑥日本の商業・サービス業 ①世界の交通・通信網と日本 ②日本の交通・通信網 ①九州地方はどのような地方だろうか ②火山のめぐみと防災への取り組み ③九州地方の都市や都市や工業と自然環境 ④自然環境と農業のくふう ⑤沖縄の自然環境とくらしや産業	①国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題を取り上げ、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を大観する。 ②世界における日本の産業の特色の変化を理解する。 ③農業地の広がりや特色を自然・社会条件との関係に着目し理解する。 ④日本の林業・漁業の現状を理解する。 ⑤工業地域や工業出荷額をもとに、特色と変化を理解する。 ⑥産業別人口にしめる第3次産業の割合を考える。 ①日本はどのように交通・通信と結びついているか、モノ・ヒト・情報から考える。 ②日本の交通・通信網の発達と生活の関係を理解する。 ①九州地方を概観し自然や人々の生活の特色を理解する。 ②火山のめぐみと火山による災害と防災の取り組みを理解する。 ③大陸に近い九州地方の都市や工業の特色とアジアとの結びつきについて考える。 ④温暖な気候や火山、自然環境を生かした九州の農業の特色を考える。 ⑤沖縄の自然環境とくらし、産業との関わりについて考える。
2	前 半	3章 日本の諸地域 2節 中国・四国地方 3節 近畿地方	①中国・四国地方はどのような地方だろうか ②交通網の発達と地域の生活の変化 ③海運と陸運で結びつく工業 ④高速道路で広がる結びつき ①近畿地方はどのような地方だろうか ②琵琶湖の水が支える京阪大都市圏 ③近畿地方の工業と環境保全 ④古都・奈良・京都と歴史的景観の保全 ⑤環境に配慮した近畿地方の農林水産業	①中国・四国地方を概観し自然や人々の生活の特色を理解する。 ②中国・四国地方の工業や物の流れ、交通網の整備との関連を考える。 ③中国・四国地方の工業や物の流れを理解する。 ④中国・四国地方と他の地域を結び付けている交通網を考える。 ①近畿地方を概観し自然や人々の生活の特色を理解する。 ②大阪・神戸の特色と琵琶湖の水が京阪大都市圏を支えていることを理解する。 ③京阪工業地帯の特色を理解する。 ④古都奈良・京都の町並み変化と環境保全について考える。 ⑤近畿地方が環境に配慮した農林水産業を行っていることを理解する。

学 期	後 半	3章 日本の諸地域 4節 中部地方 5節 関東地方	①中部地方はどのような地方だろうか ②輸送機械工業がさかんな東海 ③名古屋大都市圏と東海の農業 ④変化する中央高地の産業 ⑤北陸の産業と雪とのかかわり ①関東地方はどのような地方だろうか ②多くの人口を引き寄せる東京 ③東京大都市圏の拡大と都市 ④人口の集中による都市問題とその対策 ⑤工業の発展とともに集中した人口 ⑥大都市圏のまわりの地域のように	①中部地方を概観し自然や人々の生活の特色を理解する。 ②東海ではなぜ輸送機械工業がさかんになったのか、歴史的背景を含めながら考える。 ③名古屋大都市圏と東海の農業を理解する。 ④中央高地の農業・工業の特色と変化について理解する。 ⑤北陸で稲作や伝統的工芸品をつくる産業がさかんな理由を考える。 ①関東地方を概観し自然や人々の生活の特色を理解する。 ②首都東京の機能と特色について考える。 ③東京大都市圏とそのなかの都市について、人口集中による住宅地の拡大について考える。 ④人口集中による都市問題と解決策を考える。 ⑤関東地方の工業の発展と人口集中、工業地域の拡大を関連付けて理解する。 ⑥関東地方の農業地域や山間部のようすを近郊農業や過疎化への取り組みに着目して調べる。
	3 学 期	3章 日本の諸地域 6節 東北地方 7節 北海道地方	①東北地方はどのような地方だろうか ②伝統行事をはぐくんだ東北の農業 ③生活の変化と産業 ④人々がくらす街並みとその変化 ①北海道地方はどのような地方だろうか ②開発の歴史と都市 ③自然のきびしさを克服した歴史と農業 ④外国とのかかわりの歴史によって変化した漁業	①東北地方を概観し自然や人々の生活の特色を理解する。 ②東北地方の伝統行事と農業との関係する。 ③東北地方の伝統工芸品の由来と変化、及び農家の生活との関わりを調べる。 ④東北地方に残る伝統的な街並みのようすと中心都市仙台のようすを理解する。 ①北海道地方を概観し自然や人々の生活の特色を理解する。 ②北海道地方の産業や押しの発達のようすをアイヌの人々の文化や開拓の歴史に着目し調べる。 ③北海道の農業が、自然の厳しさと向き合い克服した歴史に着目し調べる。 ④北海道地方の漁業が外国との関わりによって取れる魚の種類が変化していることを理解する。

評価方法	①定期試験の成績 ②提出物(課題、授業ノート)などの提出状況 ③学習態度・発言などの平常点(※①②③の合計で評価)
------	---

学習方法	①教科書をよく読むこと。授業前には一読しておくこと。 ②ノートは毎時間、しっかりとること。字(地名は漢字で覚えること)・図を丁寧に、間違えないように書くことを心がける。 ③地図帳を活用すること。 ④副教材(白地図・問題集)でしっかり理解出来ているか確認し、理解があいまいな場合は繰り返し学習をすること。
------	--

注意事項	※地名など、教科書に漢字で出ている地理用語は漢字で覚えること。 ※第4章は夏休みの宿題となるので、日ごろから日本の地理、世界の地理に関心を持って生活をする事。 ※中学校地理の知識は、一生の糧になるので、興味関心・知的好奇心を持ち続けること。
------	--

インフルエンザ等 臨時休校になった 場合の課題	『iワーク 地理Ⅱ』(育伸社)を活用し、授業の予習・復習をする。
-------------------------------	----------------------------------

評価方法	1.定期試験の成績 ※1・2・3の合計で評価	2.提出物(課題・作業シートなど)の提出状況	3.学習態度・発言などの平常点
------	---------------------------	------------------------	-----------------

学習方法	1.教科書をよく読み、授業の予習をする。 2.授業に集中して、ノートをきちんと取る。 3.歴史用語・地名・人物名などは正確に漢字で書くことができるようにノートを取る際や復習の際に間違いのないように注意して書く。 4.副教材『中学 Winspass 社会 歴史』および 課題の問題プリントでしっかり理解できているか確認し、理解があいまいな場合は何度も反復学習をする。
------	---

注意事項	歴史を勉強するにあたりまずは、教科書を熟読しましょう(声を出して読みましょう)。次に補助教材の『資料による 新しい歴史』(出版社: 浜島書店)にでている年表を参考に時代の特色や流れをつかんでください。また、定期試験では、歴史用語や地名・人物名などはすべて漢字で答えることになります。復習や定期試験の勉強にあたって、くり返し漢字で書いて覚えるよう心がけてください。
------	---

インフルエンザ等 臨時休校になった 場合の課題	補助教材『中学 Winspass 社会 歴史』を使って、自宅学習をします。学習する箇所は、そのとき担当者から連絡します。
-------------------------------	--

中学校2年 年間授業指導計画表

教科目 数学Ⅰ 週3時間

教科書: 数研出版『体系数学1(代数編)』, 数研出版『体系数学2(代数編)』
啓林館『中学校 未来へひろがる数学1』, 啓林館『中学校 未来へひろがる数学2』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
第一学期	前半	体系数学1(代数編) 第5章 1次関数	5 1次関数とそのグラフ 6 1次関数と方程式 7 1次関数の利用	具体的な事象を1次関数としてとらえ、問題を解決することができる。
	後半	体系数学2(代数編) 第1章 式の計算	1 多項式の計算	単項式と多項式の乗法、多項式を単項式で割る除法の計算方法を理解し、それらの計算ができる。また、多項式の展開の公式を理解し、それらを利用することができる。展開の公式を利用して、やや複雑な式を展開することができる。
第二学期	前半	第2章 平方根	1 平方根 2 根号を含む式の計算 3 有理数と無理数	根号を含む式の乗法と除法の計算を理解し、それらの計算ができる。根号を含む式の乗法を利用して、分母の有理化することができる。また、根号を含む式の加法と減法の計算方法を理解し、それらを計算ができる。
	後半	第3章 2次方程式	1 2次方程式の解き方 2 2次方程式の応用	平方根の意味を利用して2次方程式を解くことができる。2次方程式の解の公式や因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。また、数の性質や面積の問題などを2次方程式を利用して解くことができる。
第三学期		第5章 確率と標本調査	1 場合の数 2 確率の計算 3 標本調査	表や樹形図などを利用して、場合の数を求めることができる。確率の性質を利用して、確率を求めることができる。また、全数調査と標本調査の違いを理解し、標本調査を利用して母集団の状況を推定できる。

補助教材: 数研出版「体系問題集数学1(代数編)標準」, 「体系問題集数学2(代数編)標準」
「夏季課題問題集」 「冬季課題問題集」

学習方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書をよく読み、その単元での要点を押さえる 2. 要点をノートにまとめる 3. 例や例題をノートに写しながら、問題の解き方を理解する 4. 実際に問を解いて、理解を深める 5. 問題集を使って、繰り返し練習する
------	---

中学校2年 年間授業指導計画表

教科目 数学B 週2時間

教科書: 数研出版『体系数学1(幾何編)』, 数研出版『体系数学2(幾何編)』
啓林館『中学校 未来へひろがる数学1』, 啓林館『中学校 未来へひろがる数学2』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
第一学期	前半	体系数学1(幾何編) 第4章 三角形と四角形	4 平行四辺形 5 平行四辺形と面積	平行四辺形の性質や条件を理解し、それらを使って図形の角の大きさや線分の長さを求めたり、図形の性質を証明することができる。また、長方形、ひし形、正方形の定義を理解し、性質をまとめ、活用することができる。
	後半	体系数学2(幾何編) 第1章 図形と相似	1 相似な図形 2 三角形の相似条件	三角形の相似条件について理解し、相似な三角形を見つけ出したり、三角形が相似であることの証明などに利用したりすることができる。
第二学期	前半	第1章 図形と相似	3 平行線と線分の比 4 中点連結定理 5 相似な図形の面積比、体積比	三角形の線分の比について成り立つ性質を理解し、それを利用することができる。中点連結定理を理解し、それを利用して線分の長さを求めたり図形の証明を行ったりすることができる。
	後半	第2章 線分の比と計量	1 三角形の重心	線分の内分・外分、三角形の重心に関する性質などの基本事項を理解し、活用することができる。
第三学期	前半	第2章 線分の比と計量	2 線分の比と面積比 3 チェバの定理 4 メネラウスの定理	相似な図形について、相似比と面積の比、体積の比の関係を理解し、それを利用することができる。また、チェバの定理、メネラウスの定理を理解し、活用することができる。
	後半	第3章 円	1 外心と垂心 2 円周角 3 円に内接する四角形	円周角の定理について理解し、それを利用して図形の角の大きさを求めることができる。また、円に内接する四角形の性質を利用して、角度を求めたり、円と四角形の様々な性質を証明できる。
第三学期		第3章 円	4 円の接線 5 接線と弦のつくる角 6 方べきの定理 7 2つの円	接線と弦の作る角の性質を利用して、角度を求めることができる。方べきの定理を利用して、線分の長さを求めたり、図形の性質を証明することができる。また、2つの円の位置関係を観察し、中心間の距離と半径の関係について考察することができる。

数研出版「体系問題集数学1(幾何編)標準」, 「体系問題集数学2(幾何編)標準」
「夏季課題問題集」 「冬季課題問題集」

学習方法

1. 教科書をよく読み、その単元での要点を押さえる
2. 要点をノートにまとめる
3. 例や例題をノートに写しながら、問題の解き方を理解する
4. 実際に問を解いて、理解を深める
5. 問題集を使って、繰り返し練習する

中学2年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	理科 I (2単位)
年間目標	観察・実験を通して、化学変化について学び、原子・分子と関連法則について理解する。また、基礎的な電磁気学の法則とその応用に取り組む、基本的な測定器等の技能を修得する。
使用教科書	東京書籍 『新しい科学2年』
使用補助教材	『実力練成問題集 理科 2年 2017』 正進社 『新理科表デラックス』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	<中学1年次の補充事項> 3章 力の世界 単元1 化学変化と原子・分子 第1章 物質のなり立ち	3. 圧力 4. 水中ではたらく力 5. 大気による圧力 1. カルメ焼の秘密 2. 水に電流を流したときの変化 3. 物質をつくっているもの 5. 物質と原子の記号	化学変化についての観察・実験を通して、化合、分解などにおける物質の変化やその量的な関係について理解するとともに、これらの事象を原子・分子のモデルと関連づける見方や考え方を養い、物質のなり立ちや化学変化のしくみに対する興味・関心を高める。
	後 半	第2章 物質どうしの化学変化 第3章 酸素がかかわる化学変化	1. 異なる物質の結びつき 2. 化学変化を原子の記号で表す 1. 物が燃える変化 2. 酸化物から酸素をとる化学変化	
2 学 期	前 半	第4章 化学変化と物質の質量 第5章 化学変化とその利用 単元4 電気の世界 第1章 静電気と電流	1. 化学変化と質量の変化 2. 化合するときの物質の割合 1. 化学変化と熱 2. 私たちのくらしと化学変化 1. 静電気の正体とその性質	小学校で学習した「磁石の性質」「電気の通り道」「電気のはたらき」「電流のはたらき」「電気の利用」など、電流のはたらきや磁石の性質をもとに、電流回路についての観察・実験を通して、電流と電圧との関係および電流のはたらきについて理解する。また、静電気に関わる観察・実験を行い、静電気の基本的な性質を理解する。これらをもとに、日常生活と関連づけて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を養い、電流とその利用に対する興味・関心を高める。
	後 半	第2章 電流の性質	2. 放電と電流 1. 電気の利用 2. 回路に流れる電流 3. 回路に加わる電圧 4. 電圧と電流と抵抗 5. 電気エネルギー	
3 学 期		第3章 電流と磁界	1. 電流がつくる磁界 2. 磁界から電流が受ける力とモーター 3. 発電機のしくみ 4. 直流と交流	

評価方法	1 定期試験の成績 2 実験の技能や報告書内容に基づく平常点 1、2を本校評価法に合わせて判断する。
------	--

学習方法	法則に関する理解を深めるため、実力練成問題集を用いた演習を行う。
------	----------------------------------

注意事項	基本的な法則をモデルやシュミレーションにより、明確なイメージと理解を持って活用できるように努める。さらに、実験を通して自ら考えて方法論に取り組み、試行錯誤を重ねながら成長すること。
------	--

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	実力練成問題集における今年度の既習内容について、各自ノートに演習すること。特に、問題に関連する図や表は必ず記載し、視覚的考察力も養うこと。登校時にノートを提出。
-----------------------	--

中学2年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	理科Ⅱ(2単位)
年間目標	観察・実験を通して、動物の体のつくりとはたらきを学び、これにもとづいて動物が分類できることを理解する。また、身近な場所で起こる気象観測を行うことで、気象現象の起こる仕組みと規則性についての認識を深める。
使用教科書	東京書籍『新編新しい科学2年』
使用補助教材	『実力練成問題集 理科 2年 2017』 正進社『新理科表デラックス』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	2 動物の生活と生物の変遷 1章 生物と細胞	1. 植物と動物の細胞の共通点と相違点 2. 単細胞生物・多細胞生物のつくり 3. 多細胞生物の体のなりたち	生物の体は細胞からできていることを観察を通して理解する。また、動物などについての観察・実験を通して、動物の体のつくりとはたらきを理解しそれにもとづいて動物が分類できることなどを理解する。さらに、さまざまな動物の比較から分析・解釈を行い、生物の変遷について理解する。単元全体を通じ、自然環境を保全し生命を尊重しようとする意欲と態度を育てる。また、内容に則した問題演習を行い、思考力を育成する。
	後 半	2章 動物のからだのつくりとはたらき	1. 消化器官、肺、心臓、じん臓、肝臓などの 2. 器官のつくりとはたらき 3. 感覚器官とそれに対する反応	
2 学 期	前 半	3章 動物の分類 4章 生物の変遷と進化	1. セキツイ動物と無セキツイ動物の分類 2. 血液の循環の仕方 1. セキツイ動物の進化の過程	身近な場所で気象観測を継続的に行い、その観測記録や資料をもとに、気象要素と天気の変化の関係を見いだす。その際、体験的な活動などを通して、気象に関する興味・関心を高める。天気の変化が主として大気中の水の状態変化と大気の動きによって引き起こされることを理解するとともに、日本の天気の特徴をとらえ、気象現象の起こるしくみと規則性についての認識を深める。その際、観測記録や資料などの分析や解釈を行い、思考力を育成する。
	後 半	4 天気とその変化 1章 気象の観測 2章 前線とそのまわりの天気の変化	1. 観測方法・記録の仕方 2. 気温・湿度・気圧・風向などの各気象要素の変化 1. 前線の種類 2. 前線通過時の気象要素の変化	
3 学 期		3章 大気の動きと日本の天気 4章 雲のでき方と水蒸気	1. 日本の天気 2. 水の循環 3. 飽和水蒸気量と湿度 4. 雲のでき方と雨・雪の生成	

評価方法	1 定期試験の成績 2 学習態度等の平常点 1、2を本校評価法に合わせて判断する。
------	---

学習方法	実力練成問題集を用いた演習を行う。
------	-------------------

注意事項	受身の姿勢で授業を受けても、理科という科目は全く深まることはない。主体的に学ぶ姿勢を大切に、行動に移していかなければならないので、意識しておくこと。また、不明な点は適宜質問をすること。
------	--

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	実力練成問題集における今年度の既習内容について、各自ノートに演習すること。次回登校時にノートを集めるので、わかりやすくまとめておくこと。
-----------------------	--

平成29年度 中学2年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	週1時間
年間目標	中学1年生での学習を基に、より幅広い表現を目指す。 合唱祭に向けて、歌唱表現を高める。
使用教科書	「中学生の音楽2・3上」、「中学生の音楽2・3下」、「中学生の器楽」教育芸術社
使用補助教材	アルトリコーダー

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	○歌唱 早春賦 ○鑑賞 組曲「展覧会の絵」	日本歌曲に親しむ イメージを膨らませながら鑑賞する	日本語の持つ美しさを感じ取り、表情豊かに表現させる。 楽曲が表現している内容を目分なりのイメージを持って感じ取らせる
	後 半	○器楽 リコーダーアンサンブル ○歌唱 夏の思い出	リコーダーアンサンブルに親しむ 日本歌曲に親しむ	より高度なアンサンブルに取り組ませる。 日本語の持つ美しさを感じ取り、表情豊かに表現させる。
2 学 期	前 半	○鑑賞 アランフェス協奏曲、その他協奏曲 ○歌唱 帰れソレントへ	協奏曲に親しむ カンツォーネに親しむ	ギターやその他の楽器の協奏曲に親しみ、協奏曲について理解させる。 様々な楽器の音色に親しみ、それぞれの良さを感じ取らせる。 楽曲の特徴を理解し、調の変化を感じ取りながら歌唱させる。
	後 半	○器楽 リコーダーアンサンブル ○鑑賞 日本及びアジア諸国の音楽	テノール、バスを含むアンサンブル 世界の様々な音楽に親しむ	テノール、バスを含んだ4声のアンサンブルに親しませ、 総合的なアンサンブル能力を向上させる。 日本やアジア諸国の音楽に親しみ、音楽の多様性を感じ取らせる。
3 学 期		○鑑賞 ボレロ ○合唱 心と心で、教科書より数曲	様々な楽器の音色に親しもう 合唱の響きに親しむ	楽曲の特徴を理解し、オーケストラにおける様々な楽器に親しませる。 合唱の響きに親しみ、他者と心を合わせて歌えるようにさせる。

評価方法	実技試験(歌唱・器楽)、ノート検査を学期ごとに数回行い、採点する。
------	-----------------------------------

学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽、歌唱 楽譜を正しく読み、音として表現する。また、表現の工夫をし、自分なりの演奏をできるようにする。 ・鑑賞 楽曲の成り立ちや作曲者について理解する。また音楽を形作っている様々な要素を感じ取り、自分なりの感想を文章で表現できるようにする。
------	---

注意事項	特になし
------	------

インフルエンザ等 臨時休校になった 場合の課題	特になし
-------------------------------	------

平成29年度・中学2年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	1単位
年間目標	主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
使用教科書	光村図書美術2・3 38光村 美術822・823
使用補助教材	

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	平面構成 デザイン	動植物のシルエットをもとにした構成 対称によるリビテーション(ソヘム) で 色面を彩色 (シメトリビテーション) (対称による構成)にて ー)	形態の単純化と強調(デフォルメ) 均一面の彩色
	後 半	平面構成 デザイン	動植物のシルエットをもとにした構成 対称によるリビテーション(ソヘム) で 色面を彩色 (シメトリビテーション) (対称による構成)にて ー)	形態の単純化と強調(デフォルメ) 均一面の彩色
2 学 期	前 半	幻想画 (絵画)	シュールリアリズム表現 自動書紀(オートマ ティスム) をもとに様々なモチーフを構成 絵画技 法(カラー ジュ、フロンタージュ、ドロッピング、デカルコマン)	非日常の世界観と自己の視点で ませながら 表現するか考える。絵画の平面上での構成 (空間・面)を工夫する。素材として扱うもの(モチ ーフ)をどのように組み合わせるか。例題提示。
	後 半	幻想画 (絵画)	シュールリアリズム表現 自動書紀(オートマ ティスム) をもとに様々なモチーフを構成 絵画技 法(カラー ジュ、フロンタージュ、ドロッピング、デカルコマン)	非日常の世界観と自己の視点で ませながら 表現するか考える。絵画の平面上での構成 (空間・面)を工夫する。素材として扱うもの(モチ ーフ)をどのように組み合わせるか。例題提示。
3 学 期		レタリング	日本語(明朝・ゴシック) アルファベット(サンセリフ(ローマン)・ゴシック)	美しい文字表現とは何か。文字を使い方 はト う。参考作品の提示。

評価方法	提出作品・制作態度
------	-----------

学習方法	参考作品の提示・エスキースの指導
------	------------------

注意事項	個性を十分に発揮させる。
------	--------------

インフルエンザ等 臨時休校になった 場合の課題	レポート提出
-------------------------------	--------

中学2年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	保健体育(3単位)
年間目標	中学生期は心もからだも著しく発達する時期である。日常の生活をおくるなか心身の機能の発達や変化、自身を取り巻く生活環境への対応など自らの健康管理や生活行動が適切に実践できるよう正しい知識を身に付ける。
使用教科書	大修館書店『保健体育』
使用補助教材	大修館書店『中学保健体育ノート1』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期		心身の機能の発達と心の健康	1 からだの発育・発達 2 呼吸器・循環器の発育・発達 3 生殖にかかわる働き成熟 4 性への関心と行動 5 心の発達と社会性 6 自己形成 7 欲求と欲求不満	心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。 中学生期のからだと心の発達課題に気づかせ進んで学習させる。 思春期に起こる心身の変化や思春期が生殖機能の成熟や自己の認識が深まる時期であることを理解させる。心の健康を保つためには、心身の調和を保つこと、欲求やストレスに適切に対処する方法を理解し、知識を身につけさせる。
2 学 期		心身の機能の発達と心の健康	8 心と体のかかわり 9 ストレス対処と心の健康	健康と環境について理解できるようにする。 からだの環境適応能力や生活に適した環境条件に気づき、自らすすんで学習する。 廃棄物の処理と環境保全についての理解を一層深め、これからの生活に生かさせる。
		健康と環境	1 環境の変化への体の適応 2 快適で能率のよい環境 3 衛生的な飲料水の供給 4 空気の汚染と換気 5 し尿とごみの処理 6 私たちの生活と環境問題	
3 学 期		けがの防止	1 けがの原因と防止 2 交通事故によるけがの防止 3 犯罪被害の防止 4 自然災害への備えと避難 5 応急手当の基本 6 けがの応急手当	日常におけるけがや事故は、ほとんどの場合、安全な行動、交通環境の改善などを行うことにより、防止できることを理解させる。 日常における怪我や事故の例をあげ、その原因について考えさせることにより、各自が怪我や事故にあわないよう、注意させる。

評価方法	定期試験及び平常点(ノート検査等)による評価
------	------------------------

学習方法	
------	--

注意事項	
------	--

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	
-----------------------	--

中学2年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	保健体育(3単位)
年間目標	様々な運動を通して基礎的な体力の向上をはかるとともに運動をすることの喜びを感じ、安全性に配慮しながら仲間と協力することの大切さや、公正な態度を身に付け生涯を通して健康でスポーツのできる身体をつくる。
使用教科書	東京書籍『新しい体育実技』
使用補助教材	

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期		サッカー(男子) バレーボール(女子)	サッカー 技術 ドリブル・リフティング・フェイント・インサイドキック・アウトサイドキック・トウキック・ボールコントロール・トラッピング ミニゲーム 4対4 ルール バレーボール 技術 1 パス・トス・レシーブを行う。 2 パス(オーバーハンド・アンダーハンド) 3 トス 4 レシーブ	サッカー 基本的なキックやボールコントロールを身に付け、パスやドリブルを使ったミニゲームを楽しむ。 チームや自己の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習やゲームのやり方を工夫することができるようにする。 バレーボール ゲームを通して、基本的なパスやレシーブやラリーを楽しむことができる。 チームや自己の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習やゲームのやり方を工夫することができるようにする。
		マット運動(男子) バスケットボール(女子)	ゲーム 1 4対4ミニゲーム 2 パスラリーゲーム マット運動 前転・後転・補助つき倒立 開脚前転・開脚後転 伸膝後転・側転・連続技 バスケットボール パス(チェストパス・バウンスパス・オーバーヘッドパス・ショルダーパス) シュート(セットシュート・レイアップシュート) ドリブル 簡単なコンビネーションプレー ゲーム(3対3のパスゲーム・3対3のハーフトゲーム・5対5の正式なゲーム)	マット運動 個人の技能を高め、技がよりよくできる。 互いに協力して練習ができる。 器械、器具を点検し、安全に留意して、練習ができる。 自分の能力を知り、それを高める。 技を身に付けるための補助や用具を活用する。 バスケットボール パス・ドリブル・シュートなどの基礎的技能を正しく身につけ、チームメイトと協力してゲームを楽しむ。 ゲームを通して、ルールやマナーを守る態度と、全力を尽くしてプレーする精神を養う。 ルールを守り、公正な態度で試合に臨ませる。
3 学 期		バレーボール(男子) サッカー(女子)		

評価方法	第1学期 各種目実技試験 第2学期 各種目実技試験 第3学期 各種目実技試験
------	--

学習方法	男女別で、AB・CD合同、E単独で実施する。
------	------------------------

注意事項	服装を整え(頭髪・つめ・学校指定の体育着を着用)、準備運動・補強運動をしっかりと行う。
------	---

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	
-----------------------	--

中学2年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	保健体育(3単位)
年間目標	様々な運動を通して基礎的な体力の向上をはかるとともに運動をすることの喜びを感じ、安全性に配慮しながら仲間と協力することの大切さや、公正な態度を身に付け生涯を通して健康でスポーツのできる身体をつくる。
使用教科書	東京書籍『新しい体育実技』
使用補助教材	

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
		柔道	柔道 柔道の特性 礼法 基本動作 受身(相対的練習) 投げ技 1 膝車 2 大腰 3 体落とし 固め技(実践練習)	柔道 柔道の特性を理解する。 礼法をしっかりと身につける。 いろんな場面に応じた受身の仕方ができる。 投げられた際、受身をしっかりとる。 投げる際、受身を取りやすいように補助する。 崩し・体さばきの必要性を理解する。 投げ技の基本を理解する。
		剣道	剣道 剣道の特性 礼法・木刀の扱い方 基本動作 基本1 一本打ちの技 基本2 連続技 基本3 払い技 基本4 引き技 基本5 抜き技	剣道 1) 剣道の特性を理解し、礼法や所作を正しく身につける。 2) 木刀の扱い方を理解し、基本動作を正しく行う。 3) 対人技能を通し構え・目付け・間合いを身につける。 4) 剣道の技を理解し仕かけ技・応じ技を習得する。
		ダンス	ダンス ダンスの特性 体育祭でのダンス(ロープ) 課題から動きを創る リズムダンス 舞台用語・構成案	ダンス 美的原理を理解して、より感じのある表現ができる。 鑑賞力を高める。 マ스ゲームにおける、ひとり一人の役割(重要性)を理解する。 発表・鑑賞する側、ともに共感できる雰囲気づくり。

評価方法	柔道 投げ技実技(手技 腰技 足技) 剣道 木刀による剣道基本技稽古法(基本1～基本5) ダンス 体育祭でのダンス、創作ダンスによる表現力、リズムダンス
------	--

学習方法	男子は前期、柔道(A・C・E前半)剣道(B・D・E後半)とし、後期、柔道(B・D・E後半)剣道(A・C・E前半)とする。女子はAB・CD合同、E単独で実施する。
------	--

注意事項	服装を整え(頭髪・つめ・学校指定の体育着・柔道着を着用)、準備運動・補強運動をしっかりと行う。
------	---

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	
-----------------------	--

平成29年度・中学2年生 技術科年間指導計画表

教科目(単位数)	技術・家庭 技術分野 週1時間
年間目標	ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。
使用教科書	教育図書『技術・家庭 技術分野』
使用補助教材	実習 テーブルタップ デジタルエコキューブ
	情報教材 タイプクイック

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	〔技術〕 電気エネルギーの利用	〔技術〕 身の回りのエネルギー エネルギー変換 発電所の仕組みなど 電気エネルギーの変換	〔技術〕 発電所の仕組みとエネルギー効率などについて理解させる
	後 半	〔コンピュータ〕 コンピュータの利用1 〔技術〕 テーブルタップの作成	・エクセルについて 実習によりテーブルタップを作成する	表計算ソフトの操作について理解させる。 技術室の利用法
2 学 期	前 半	〔技術〕 エネルギーの利用 〔電気と中心とする〕	・回路について図記号やオームの法則、電力の計算等 ・エネルギーの変換	計算が正確にでき、電力量について理解させる。電気エネルギーの価値、環境問題について、理解させる。
	後 半	作品作り 実習1	はんだごてを使い、デジタルエコキューブを制作する。	作品を完成させること。 はんだごての取り扱い。
3 学 期		作品作り 実習2	はんだごてを使い、デジタルエコキューブを制作する。	作品を完成させること。 はんだごての取り扱い。

評価方法	第1学期 テーブルタップの評価 エクセルの小テスト 第2学期 実習の作品 作業状況 第3学期 作品提出[AC人感センサライト]
------	---

学習方法	教科書と授業、実習により理解を深める
------	--------------------

注意事項	コンピュータの取り扱い、実習中のけがなどに注意する
------	---------------------------

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	教科書の精読を通じて、知識の定着を図る。
-----------------------	----------------------

平成29年度 中学2年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	技術・家庭 家庭分野 (週1時間)
年間目標	食についての知識を深め、実践的な態度を育てる。また日常生活に食の知識を生かし、より豊かな生活ができるようにすることを目標とする。
使用教科書	教育図書『技術・家庭 家庭分野』
使用補助教材	被服実習:株式会社スタイリッシュ『手軽でばっちりお出かけトート(大)』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	1章 健康と食生活	1 食生活を考えよう 2 栄養素の種類とはたらき	食事が果たす役割や健康と食事の関わりについて考える 食品に含まれる栄養素の種類と働きについて理解する 栄養素の働きがわかる 水の働きについて理解する
	後 半		3 食品に含まれる栄養素	食品に含まれている栄養素は食品によって違いがあることを理解する 中学生の時期の栄養の特徴を理解し、食品を栄養的な特徴によって分類し、食品群にまとめられるようにする 必要な栄養を満たす1日分の献立を考える
2 学 期	前 半	2章 献立作成と食品の選択	1 1日分の献立作成 2 食品の選択と購入	食生活の自立のために、食品を適切に選び、安全や衛生に注意する 生鮮食品や加工食品の特徴を理解し、状況に応じた食品の選択や利用の仕方を知 食品の表示を理解し、安全な食品を選び、適切に保存する 食生活を取り巻く問題について理解する
	後 半	被服実習	お出かけトートの製作	衣生活の自立のために、衣服素材を理解し、手入れや補修ができるようにする。 製作に必要な用具を準備し、使い方を理解する
3 学 期		被服実習	お出かけトートの製作	2学期と同様に継続して技術を習得する

評価方法	1・定期試験 2・授業態度 3・実習態度 4・提出物 5・小テスト
------	---

学習方法	教科書と授業ノートをよく見て、理解を深める
------	-----------------------

注意事項	被服実習の際に、家庭に持ち帰って課題をすることを禁じる。万が一を行った場合は被服実習の点数はなしとする。
------	--

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	教科書及び副教材の精読を通じて、知識の定着を図る。
-----------------------	---------------------------

中学2年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	中学2年 英語 (5単位)	
年間目標	Reading	教科書の本文を、日本語に訳しながら内容を理解できる 200語程度の長い手紙やEメールの英語のメッセージを、辞書を使いながら理解できる
	Listening	電話番号を聞いたり、お店で値段を聞いたり、近くの場所までの道順を、英語でほぼ理解できる 長い説明文や物語文を、メモをとりながら理解することができる
	Writing	2～3文程度の短い簡単な内容の英語の日記を書くことができる 絵はがきやカードに簡単な英語のメッセージを書くことができる 自分の意見や感想を2～3文の英語で書くことができる
	Speaking	自分の好きなことについて、英語で短い簡単な説明をすることができる 自分の夢について、英語でスピーチすることができる
	使用教科書	NEW CROWN English Series 2 (三省堂)
使用補助教材	中学必修テキスト英語2年New Crown準拠(文理) 3分リスニング中級(正進社) 基本英文法演習2000(コスモライブラリー) 高校入試とともすっきり英語長文(旺文社)	

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	LESSON 1 Aloha! ハワイの心「アロハ」	Amy played ~.	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の重要表現の暗記 新出単語の発音・意味・綴りの習得 文法事項の習得
		●Let's talk ① 道案内をしよう	How can I get to ...?	
		LESSON 2 Peter Rabbit 世界中で愛されるウサギのお話	My father was ~. My parents were ~. Was your father ~? My father was not ~.	
		When my mother came home, I was watching ~.		
		●Let's talk ② もし雨が降ったら	If it rains, let's play ~.	
	後半	LESSON 3 The Ogasawara Islands 自然にやさしく	It will be ... Will it be ~? It will not be ~.	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の重要表現の暗記 新出単語の発音・意味・綴りの習得 文法事項の習得
		I am going to visit ~. / Are you going to ~?		
		I think (that) 主語 + 動詞 ~.		
		●Let's talk ③ 避難訓練	We must ~. / We must not ~.	
		LESSON 4 Enjoy Sushi おすしはいかが	There is ~. / There are ~. Is there ~? I like playing ~.	
●Let's talk ④ 宿題は何?	We have to ~.			
2学期	前半	♣LET'S READ 1 A Pot of Poison 毒のつぼ		<ul style="list-style-type: none"> 教科書の重要表現の暗記 新出単語の発音・意味・綴りの習得 文法事項の習得
		LESSON 5 Uluru オーストラリア先住民の歴史をたどる旅	I will give Koji a book. Miki looks happy.	
		●Let's talk ⑤ もっといただけますか	May I ~?	
		LESSON 6 My Dream ロボットのある暮らし	Amy wants to ~. Tom went ~ to play ... Miki has something to eat.	
		●We're Talking ⑥ 電話をしよう	Will you ~, please?	
	後半	LESSON 7 Presentation わかりやすい発表とは	younger than / the youngest ~ more popular than / the most popular ~ as big as / run faster than (副詞の比較級)	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の重要表現の暗記 新出単語の発音・意味・綴りの習得 文法事項の習得
		LESSON 8 India, My Country インドってどんな国?	The room is cleaned ~. The room was cleaned by ~.	
		●Let's talk ⑦ 買い物しよう	This shirt is too large.	
		♣LET'S READ 2 Landmines and Aki Ra		

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト スプリングコンテスト(4月・9月・1月)、スピーチコンテスト(11月) 小テスト(3文暗記・単語) ・提出物 ・授業態度
------	--

学習方法	教科書を中心に授業を進め、Reading, Writing, Listening, Speakingの4技能を伸ばす。 音読に力を入れる。リスニングテストを毎回行うことで、リスニングの力を強化する。 教科書準拠の問題集で、文法を身につける。 スピーチの準備を通して、Writingの技能も伸ばす。
------	---

注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 配布されたプリントはノートに貼る習慣をつけ確実に管理し、学習に生かすようにする。 出された宿題は必ずペストを尽くして取り組み、英語の学習に取り組みのを毎日の日課とする。 放課後に補習を実施し、知識の定着を図る。 ・学期毎に、スプリングコンテストを実施する。 学年全体でのスピーチコンテストを実施する。
------	---

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	<ul style="list-style-type: none"> 教科書および準拠問題集で、欠席した分の課をカバーする。 配布されたプリントや提出物、小テストの指示を、友人や授業担当者を通じて必ず確認する。 自力でカバーできない部分は、必ず自分から授業担当者に相談に行くこと。必要に応じてフォローする。
-----------------------	--